

令和5年度第1回社会教育委員会議兼中央公民館運営審議会 会議録

1 日時

令和5年5月23日（火）午後1時30分から午後2時45分まで

2 場所

碧南市文化会館5階 研修室1

3 出席者及び欠席者

(1) 出席者 加藤 榮治、清水 ヨシエ、伊藤 利和、榊原 健、竹中 瑛智、
鳥居 隆一郎、竹原 邦夫、鳥居 元樹

(2) 欠席者 鈴木 裕

(3) 事務局職員 教育長 生田 弘幸、文化財課長 杉浦 宏真、スポーツ課長 中嶋
忠彦、海浜水族館副館長 地村 佳純、生涯学習課長 鈴木 善三、
生涯学習課課長補佐 山田 光則、生涯学習課生涯学習係主事 榊原
康史

4 傍聴者 なし

5 議題

- (1) 令和5年度社会教育事業計画について
- (2) 令和5年度社会教育関係団体への補助金の交付について
- (3) その他
ア 年間の主な活動計画について

6 議事の要旨

- (1) 教育長あいさつ
- (2) 辞令交付
- (3) 会長あいさつ
- (4) 議題

ア 令和5年度社会教育事業計画について

事務局が会議資料に基づき、各課より令和4年度社会教育事業計画について説明した。結果、事務局案が了承された。

<主な意見・質疑>

【A委員】資料にある「生涯学習推進体制の強化」とは、具体的にどの活動のことを

指しているか。

【生涯学習課長】上部社会教育委員会にて開催される研修会への参加が該当すると認識する。

【A委員】昨年一年間の参加を通して、これらの活動が活性化に寄与しているのか疑問。

【会長】事務局に確認したい。以降の具体的な活動の改善をこの場で提案をすることも可能との認識でよろしいか。

【生涯学習課長】そのような提案はぜひお願いしたく、随時受け入れる。

【B委員】市制75周年記念事業「みんなあつまれどろんこまつり」の安全対策は万全か。

【生涯学習課長】「おやじの会」が実行委員会を立ち上げ準備中であるが、前回5年前開催時のノウハウを更に煮詰めており、無事故で開催できるよう細心の注意を払う。

【B委員】その点については是非にお願いします

【C委員】自分は見解を異にしており、多少の怪我はあっても子どもたちが本物の体験をすることがより重要だと考えている。体験に勝る学習はない。先日芸術文化ホールにて開催された「高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト」コンサートに当市の出身者がメンバーとして参加していたことからわかるように、才能を持つ人間は身近にも存在しており、そういった方々をより積極的に起用するよう努められたい。

【D委員】今回この会議の初参加により、様々な部署の様々な事業を知った。せっかくなので、子どもたちが利用するSNS等を通じて活動をPRしていただきたい。

【A委員】文化財課基本方針に「私たちは当市に…」と記載があるが、「私たち」の主体は何か。

【文化財課長】「私たち」は「市民」として認識している。

【A委員】美術館について、リニューアル後の変化についてお聞きしたい。

【文化財課長】美術品の修復が可能になり、展示品借り受けの際、他美術館から信頼を得られたことは大きな変化である。また、多目的スペースの設置により藤井達吉用展示スペース等の展示用スペースが増加している。。

【A委員】企画展も重要ではあるが、常設展の充実は固定客の確保につながるもので、より良い展示内容を期待する。

【A委員】スポーツ課補助金交付について、昨年度交付のあった「ダンスコンテスト」

が今年度表記がない。なぜか。

【スポーツ課長】「ダンスコンテスト」については話し合いの結果、事業を実施しないこととなり、申請がなかったためである。

【A委員】「主な展示・調査・生物収集活動」について、昨年度あった「ビオトープボランティア活動（年7回）」について今年度表記がない。中止されたのか。

【水族館副館長】資料27ページの表のとおり、例年通り行っている。

【会長】ボランティア活動の申込状況はどうか。

【水族館副館長】毎年、募集定員が埋まるほど順調である。

【E委員】各イベントの告知や申し込みの方法はどうか。

【水族館副館長】主に広報誌やホームページでPRを行い、オンラインで申し込んでいる。また、操作に不慣れな場合は直接お越しいただいての申込操作の案内もしている。

【教育長】昨年度は歴代2位の実績を残すことができた。今年度は遠足での利用は入館無料とし、午前中に美術館で芸術鑑賞、午後からは水族館で自然とのふれあいといった遠足の定番コースの構築を目指している。

所管が教育部という碧南市の組織運営形態を生かして、収益ももちろんであるが稼働率、利用実績を重視した活動も重要であると考えている。

イ 令和5年度社会教育関係団体への補助金の交付について

事務局が会議資料に基づき、令和4年度社会教育関係団体への補助金について報告し、特に質疑なく了承された。

ウ その他

(ア) 年間の主な活動計画について

事務局より会議資料に基づき、今後の年間活動計画について報告し、特に質疑なく了承された。